

平成25年7月吉日

青年部会員 各位

広島商工会議所青年部
会 長 松田 哲也
観光開発委員会
委員長 西村 慎吾

広島商工会議所青年部「8月例会」の開催について
(ご案内)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より青年部事業に格段のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

「従業員が楽しみながら、生き活きと仕事をしている」そんな会社で商品を買いたいとは思いませんか。「観光」も同じではないでしょうか。

「そこに住む人たちが楽しみ、わくわくしている」そんな所に行ってみたいとは思いませんか。

観光とは、単に風景を見るだけでなく、そこに住む人の息吹を感じ取ることでもあるはず。地元の人を楽しむことが、真の意味での「観光」の充実につながります。

本例会では、(株)リクルートで「九州じゃらん」の編集長などを歴任された佐藤真一氏に、そこで培ったビジネス理論を使って、「地元の人を楽しむ、地域が活性化する観光」を分かりやすく解説して頂きます。

観光だけではなく、ビジネスにも通じる長期的成功のカギを手に入れてください。

皆様におかれましてはお忙しいとは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、ぜひご参加くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬 具

記

日 時 平成25年8月27日(火) 18:30～21:30
講演会 18:30～20:05
懇親会 20:15～21:30
* 18:00より開場・受付しております。

場 所 グランドプリンスホテル広島 2F「瀬戸内」 講演会
「瀬戸内」 懇親会
* 講演会と懇親会は隣接別会場になります

内 容 1 . 講演会

テーマ 「人生を最高に旅せよ！ ～観光が感幸に変わる瞬間～」

講 師 株式会社バリュー・クリエーション・サービス

代表取締役 佐藤 真一 氏

「瀬戸内しまのわ2014」総合プロデューサー

「観光」の長期的成功に向けた地域の重要性

並びにその基礎となるビジネス理論

地域参画型「観光」の成功実践例

2府22県でされた63事業の経験談

「瀬戸内しまのわ2014」の案内

「瀬戸内しまのわ2014」とは、

地域づくりと観光振興を一体として、広島・愛媛両県が2014年に共同開催するイベントです。

3月21日(金・祝) 宮島でのオープニングセレモニーで開幕し、10月26日の閉幕イベントまで、大小合わせて100以上のイベントを、広島・愛媛両県で展開。期間中80万人の参加を見込む。

2 . 懇親会

登録料 5,000円(当日受付にて申し受けます)

キャンセルされる場合は3日前までにご連絡下さいますようお願いいたします。以降のキャンセルにつきましては、会費徴収させていただくことがございますのでご了承下さい。

出欠回答は、8月9日(金)までに事務局宛ご返信下さい。

(出欠の如何に関わらず必ずご返信いただきますようお願いいたします)

懇親会では酒類を供しますので、ご本人運転のお車でのご来場はお控えいただきますようお願いいたします。但し、都合上お車でお越しの際は無料駐車場がございます。受付にてお申し出下さい。

当日はグランドプリンスホテル行きの貸し切りマイクロバスを2台運行いたします。

商工会議所ビル東側より2台(17:45発)時間厳守でお願いいたします。定員54名先着順。

また、広島駅新幹線口より一般利用の無料シャトルバスが17:40発スワロートラベル広島店前より運行されています。(18:05着)

<http://www.princehotels.co.jp/hiroshima/access/info/shuttlebus/>

お帰りのバスについては先着順(2台・54名)で、八丁堀経由広島駅までお送りさせていただきます。

広島商工会議所では、地球温暖化防止のための環境行動の一環として、5月13日～10月31日の間、夏の軽装運動を実施しております。趣旨ご理解の上、軽装でご出席いただければ幸いです。

〔事務局〕広島商工会議所 中小企業振興部(担当:吉岡)

TEL 082-222-6661 FAX 082-222-6006

E-mail yeg@hiroshimacci.or.jp

以上

佐藤真一氏のプロフィール

株式会社 バリュース・クリエーション・サービス 代表取締役



(株)リクルート 旅行カンパニーじゃらん
リサーチセンター客員研究員
西日本新聞社 企画局 ソーシャル事業部 客員プロデューサー
社団法人 日田市観光協会 事務局長
社団法人 天草宝島観光協会 総合アドバイザー
P & C プランニング(株) 取締役編集長
鹿児島「美味のまち鹿児島づくり事業」 総合プロデューサー
広島&愛媛「瀬戸内しまのわ2014」 総合プロデューサー
観光庁 観光行政管理者研修講師
HP: <http://www.vcs.co.jp/>

【略歴】

(株)リクルートにて旅行情報誌「じゃらん九州発」「おとなのいい旅」の編集長などを経験。

2006年、39歳で同社退職後、地域活性&観光振興で悩む地域・企業の再生をサポートする(株)バリュース・クリエーション・サービスを起業。

地域・企業の持つ潜在価値を「メディア視点×カスタマー視点」で捉えなおし、独自の「戦略論×組織論」を用いて多くの地域・企業の再生に奔走中。

また、リクルート時代に培ったビジネス理論を、地域活性・街づくりにおいて転用した実践的講義を行政(県市町村)や企業にレクチャーしており、特に観光戦略策定や人材育成に関する内容が人気あり。

現在は、人づてで噂が広まり全国からコンサルティング依頼があり、理論と実践に基づくレクチャーを展開中。(過去3カ年で「2府22県63地域」にて事業を実施)

2007年から大分県日田市より観光協会改革の依頼を受け、(社)日田市観光協会の事務局長に就任(他の役職と兼務)。4年間で観光協会の事業規模を3倍、自主財源を6倍にまで拡大させるという実績を残した。

2011年には、第73回全国都市問題会議(全国市長会主催)にて、全国の市長を含む2000人を前にして、「地域資源と公共交通を活かした観光地づくり」と題した講演会を実施。

2012年には、観光庁が主催する「観光立国推進ラウンドテーブル」にて、大学教授や観光に関わる名だたる企業のトップ、そこに観光庁長官を交えた公開討論会でパネラーを務める。

佐藤真一氏(46歳)株式会社 バリュース・クリエーション・サービス 代表取締役
大分県出身(1966年12月29日生まれ)

発想力・企画力・行動力を活かし、イベントの“高い集客実績”多数あり。

観光とは「近きもの喜びて、遠きもの来る」を座右の銘とする。

「抱えている課題こそ、価値を産む」を企業ポリシーとする。

セルフブランドネームは「バリュース・クリエーター佐藤」

主な実績について

| 年 | 実績等 |
|--------|--|
| 平成18年～ | 福岡県福岡市「博多情緒めぐり」プロジェクト、地域活性プロデュース。観光ボランティア約100人を育て上げ、毎年秋に実施するまち歩きイベント「博多情緒めぐり」をプロデュース。 |
| 平成18年～ | N E X C O西日本のQ S C委員に就任し、西日本エリアのS A & P Aの業務改善&指導を実施。 |
| 平成19年～ | 大分県日田市観光協会にて事務局長を兼任。着地型観光の推進で事業規模を3倍に拡大、事業売上4,000万円超を実現。 |
| 平成21年～ | 鹿児島県鹿児島市にて鹿児島市観光未来戦略の一環として「食によるまちづくり」推進を実現するため、「美味のまち鹿児島づくり協議会」を立ち上げ、食の観光化プログラムイベント「薩摩美味維新」を実施（現在、3年目を迎えると同時に、今後4年間の事業継続が確定） |
| 平成22年～ | 株式会社リクルート（現リクルートライフスタイル）の客員研究員として、3年間で2府22県において63カ所の地域を対象に着地型観光商品、ご当地グルメ開発、イベントプロデュースなどを手掛ける。 |
| 平成23年 | 第73回全国都市問題会議（全国市長会主催）にて「地域資源と公共交通を活かした観光地づくり」の講演会を実施。 |
| 平成24年 | 平成24年度 観光庁主催 観光行政管理者（新任者）研修講師（平成25年度も要請あり）を務める。 |
| 平成24年 | 平成24年度 観光庁主催 「地域の観光減の魅力を活かした顧客満足型旅行商品推進事業」有識者委員を務める。 |
| 平成24年 | 平成24年度 観光庁主催 「観光立国推進ラウンドテーブル」の登壇者に選任される。 |
| 平成24年～ | 広島県&愛媛県における瀬戸内海の島々を対象とした「瀬戸内しまのわ2014」の総合プロデューサーに就任。現在、両県および対象自治体、地域住民、民間企業をまとめ、2014年春～秋にかけての地域活性化イベントを企画。 |



過去3年間で事業サポートを行った地域（一部抜粋）

福岡県

- ・福岡県（新幹線開業イベントプロデュース）
- ・福岡県（広域インバウンド受入事業1）
- ・福岡市（まち歩きプロデュース）
- ・久留米市（新幹線開業イベントプロデュース）
- ・飯塚市（ご当地グルメ開発）
- ・嘉飯地域（ご当地グルメ開発）
- ・朝倉市（人材育成）
- ・福岡市（志賀島プロデュース）
- ・福岡県（広域インバウンド受入事業2）

佐賀県

- ・唐津市（ご当地グルメ開発）
- ・佐賀市（人材育成）
- ・太良町（観光基本計画策定）

長崎県

- ・佐世保市（ご当地グルメ開発）
- ・対馬市（インバウンド受入事業）
- ・雲仙天草観光圏（着地型商品調査&設計）

大分県

- ・日田市（観光協会改革）
- ・九重町（イベントプロデュース）
- ・日田・玖珠・九重エリア（広域観光戦略）
- ・宇佐・国東エリア（広域観光圏づくり）
- ・宇佐市（観光基本計画策定）
- ・佐伯市（観光ルート開発）
- ・杵築市（観光資源調査&グルメ開発）

熊本県

- ・雲仙天草観光圏（着地型商品調査&設計）
- ・熊本市（ご当地グルメ開発）
- ・天草市（観光ビジョン策定 / 観光協会改革）
- ・上天草市（ご当地グルメ開発）
- ・上天草市（宿泊施設向け研修）
- ・阿蘇くじゅう観光圏（着地型商品開発）

鹿児島県

- ・鹿児島県（新幹線開業イベントプロデュース）
- ・鹿児島市（食のまちづくり / イベントプロデュース）
- ・霧島市（おもてなし創造事業1）
- ・霧島市（おもてなし創造事業2）
- ・口永良部島（観光地域づくり）

愛媛県

- ・八幡浜市 & 伊方町（ご当地グルメ開発）
- ・瀬戸内しま博（イベントプロデュース）

徳島県

- ・徳島県東部エリア（広域観光ルート開発）

広島県

- ・広島県観光連盟（着地型商品開発）
- ・広島市（インバウンド受入事業）
- ・瀬戸内しま博（イベントプロデュース）

岡山県

- ・岡山県（人材育成 / 観光ルート開発）

兵庫県

- ・淡路市（人材育成）
- ・南淡路市（ご当地グルメ開発）
- ・赤穂市（ご当地グルメ開発）

大阪府

- ・大阪府（イベントプロデュース）

京都府

- ・南丹市（観光戦略立案）

滋賀県

- ・琵琶湖・近江路観光圏（着地型商品開発）

奈良県

- ・山添村（観光まちづくり戦略立案）

和歌山県

- ・白浜町（集客促進企画策定）

岐阜県

- ・白川村（イベントプロデュース）

富山県

- ・富山市（新幹線開業おもてなし事業）

群馬県

- ・みなかみ町（JR-DCC用企画立案）

福島県

- ・会津若松市（震災復興キャンペーン）

山形県

- ・めだた 観光圏（広域観光圏戦略づくり1）
- ・山形県最上エリア（イベントプロデュース）
- ・南陽市（観光ルートづくり1）
- ・上山市（地域プロデュース）
- ・めだた 観光圏（広域観光圏戦略づくり2）
- ・南陽市（観光ルートづくり2）

青森県

- ・黒石市（観光ルートづくり）
- ・十和田・奥入瀬観光圏（冬季プロモーション）

秋田県

- ・横手市（観光まちづくり戦略立案）

北海道

- ・札幌市（インバウンド対策）
- ・函館市（インバウンド対策）

2府22県
63事業

赤字は今年度の事業